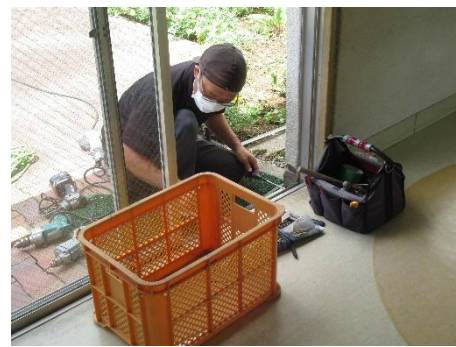


夏休み中の学校のように

教室に網戸を設置してもらいました

昨年の夏休みは、ヒマラヤスギの伐採やつくし教室の整備など、大きな工事がたくさんありましたが、今年と比較的、工事の少ない夏休みでした。そんな中、図書室をはじめ多くの出入りに網戸を設置していただきました。本校はクヌギ林が隣接しているため、スズメバチがよく



飛んできます。本来ですと、夏場はエアコンを使用するので窓や入口は閉めておきますが、換気のあるので少し窓を開けておきます。なので、網戸はなくてはならない設備になります。最初からレールがあるところに網戸を設置するのは簡単ですが、本校の出入り口には網戸用のレールがなかったので、作業はとても多変だったようです。でも、夏休み中に作業は終わり、2学期からは安心して換気をすることができます。

防災スクールの様子が新聞に

ご覧になった方も多いかと思いますが、8月7日の山梨日日新聞に楡形北児童クラブで行われた防災スクールの様子が紹介されていました。学校でも2か月に1回くらいの割合で避難訓練は行っていますが、防災用品を実際に手にしての訓練はなかなか実施する機会がありません。今回は学童に通っている子どもたちだけが体験することができましたが、機会があれば学校でも同様の研修ができるといいなと思っています。



無線機や消火器
使用方法を学ぶ
南アで防災スクール
南アルプス市防災リーダー
連絡協議会は、小学生を対象
に「夏休みも防災スクー

域のハザードマップを
しっかり確認して災害
に備えようと思った
と話した。防災スクー
ルは、夏休み中に市内
15の児童クラブで開催
し、災害発生時の正し
い行動などを講習す
る。〈穴山菜津美〉

ルを開いている。
子どもたちの防災意識を高
めようと毎年開催。7月29日
は楡形北児童クラブに通う小
学1〜6年生53人が参加し
た。市内の防災リーダー5人
の指導を受けながら、災害時
の情報伝達に使用される無線
機や消火器の使用方法を体験
し写真、動画を通して、自動
体外式除細動器(AED)や
公衆電話災害用伝言ダイヤ
ル、土砂災害などについても
学んだ。

はたらく教職員 夏休み中も頑張りました

夏休み期間中になると、私も近所の方から「先生んとうも夏休みけ？いいねー」と声をかけていただくことがよくありました。(さすがに最近は減ってきましたが…)「子どもたちが学校に来ない夏休み=先生たちも完全に休め日」と思われていた時期もありましたが、この時期も教職員は研究や研修、2学期の教材準備や書類作成等様々な業務に取り組んでいます。今日はその一部を紹介します。

最初は校内研究会の様子です。子どもたちによりよい授業を提供するための手立てをみんなで話し合いました。



27日の愛校作業が中止となったので、教職員で校庭と通学路の草刈りを行いました。



我々が作業をしていると、用務員の長沼さんの知り合いの方（桃園地区在住）が「それじゃあ大変だから」ということで草刈りの機械を貸してくださいました。おかげで作業は随分捗りました。ありがとうございました。



校庭では、運動会に向けてトラックの位置や子どもたちが並ぶ目安となるよう、ポイント打ちもしました。



この他にも、夏休み中には多くの先生が学校で、運動会の準備をしているようでした。また、研修を受けている先生も多くいました。昨年に引き続き、ほとんどの研修がオンラインでの実施だったようです。

ということで、夏休みの様子を少しだけ紹介させていただきました。昨年よりも修繕や工事に入る業者も少なく、また、コロナの第7波の影響で学校を訪れる人も例年より少なく、どちらかというとひっそりとした夏休みになったような気がします。

予定では、夏休みの様子と新学期の様子を一緒にお伝えしようと思っておりましたが、ページの区切りがいいので、夏休みは夏休みでまとめさせていただき、新学期の様子は別のページでお伝えすることにします。

